

No. **27**
2017.0.1

発行 佐久市有機農業研究協議会(発行責任者:夏川周介)【構成】佐久市・JA佐久浅間・佐久総合病院・佐久市農業委員会臼田地区委員会

ゆうきのうぎょうさく

〈事務局〉長野県佐久市臼田787 (一財)農村保健研修センター内

TEL 0267-82-5800 FAX 0267-82-5801 URL <http://nouson-rhtc.jp/>
活動の紹介は <http://nouson-rhtc.jp/yuukinougyo/> 佐久市有機農業 検索

講演会のご案内

申込み必要

土を健康にするための土づくり —肥料と堆肥の選び方・作り方・使い方—



参加申し込み

FAX
0267-82-5801

氏名・電話番号、
12/12講演会を明記

TEL
0267-82-5966
平日9時より17時受付

日時 **12月12(火) 午後1時30分～4時(受付:1時)**
開会10分前までに受付をしてください。質問の時間もあります。

会場 **佐久市コスモホール(小ホール)**
佐久市下小田切124-1 TEL 0267-82-3962

講師 **後藤 逸男 先生**
東京農業大学名誉教授
農家のための土と肥料の研究会「全国土の会」 会長

参加費
無料

- * 作物と土と肥料の基礎知識。よくある勘違い。おいしい作物の秘密。
- * 身近にある生ごみ・落ち葉・雑草・稲わら・米ぬか・モミガラなどを生かした肥料やぼかし肥の作り方、使い方。
- * 市販の肥料と堆肥の選び方、使い方。
- * 緑肥の活用の仕方。

「基本がよく理解できた」「もっと聞きたい」と大好評の後藤先生の講演会。3回目は、知って得する土づくりの基礎とともに、実際の役立つ方法をわかりやすく図解します。初めての方も、一度聞いた方もぜひご参加を。

申込み不要

冬の野菜づくりは「健康づくり」

参加者募集につき説明会を開催します。

日時 **9月8日(金)、12日(火) 9:00～10:30(どちらか都合がつく日)**

会場 **佐久市有機農業研究協議会 実験農場 (一財)農村保健研修センター 西側**

閉じこもりがちになる冬期間、農業用ハウスで新しい体験をしてみませんか。種まきから収穫まで、冬の野菜栽培を身につけながら、真冬に青菜が食べられる喜びの体験、また、楽しく農作業を続けるための「コツ」などが学べます。一人でも、友人や夫婦などグループでの参加も可能です。

活動期間：**10月中旬～3月**

※応募者多数の場合は、抽選になります。

●多彩な学習会も開催、随時広報等でお知らせします。

講師 当研究協議会・実験農場長 **川妻干将** / (一財)日本農村医学研究所・主任研究員 **柳澤和也**



作物がよく育つ土を作りましょう

畑・ハウスの土を調べませんか

申込み必要

作物は酸性度が強すぎても、アルカリ度が強すぎても土の養分の吸収が悪くなりよく育ちません。多くの作物はpH5.5～6.5あたりが最適です。

また、土の養分(チッソ肥料)が多すぎても作物の根の活力が下がってよく育ちません。土の電気伝導度(EC)を調べると、土の養分量が適正かどうかの目安がつかめます。

当協議会では、3年前からpHとECの測定し、土づくり・肥料の使い方についてのアドバイスを行っています。本年度は4月と7月に続いて、11月に下記の要領で実施します。

事前に調べたい畑又はハウスの土を採取し、よく乾燥させフイルイにかけて茶碗一杯分をお持ちください。

開催日時 11月30日(木) 集合:9時半 終了:12時

会場 当協議会・実験農場管理棟
農村保健研修センター西隣、老健施設南隣

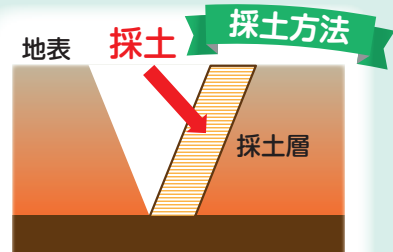
参加費 1土壌試料200円(一人2試料まで)

申込先 実験農場

Tel0267-82-5966 平日9時～17時受付

※20試料になりましたら締め切ります。

担当講師 佐久農業改良普及センター主査 佐々木深雪
実験農場長 川妻干将



地表のごみ等を取り除き、上下の量が等しくなるよう深さ10cm～15cmで柱状に採る。1つのほ場で4～5カ所から採土し1つにまとめる。

一緒に考えよう!

こうして起こった農作業事故

～自分だけは大丈夫と思っていた～

申込み不要



何故、農作業事故が後を絶たないのでしょうか。
ケガから死亡まで事例を元に安全対策について学びます。

日時 11月16日(木) 13:30～15:30

場所 (一財)農村保健研修センター 合同教室
佐久市臼田787 TEL 82-5800

講師 (一財)日本農村医学研究所(佐久総合病院)
客員研究員 浅沼信治

参加無料

